

通関士試験 問題集作成

学生氏名 藤芳 晃大 漁 太陽
担当教官 瀧川 臨

1. はじめに

10月の通関士試験を受けるため今年度から通関士の勉強を始めた。テキストを繰り返し読み、知識をつけることができたが、実際に問題を解くときには行き詰まるが多かった。その際に試験の傾向を掴める問題集があれば便利だと感じた。そこで、空き時間などでも手軽に問題が解ける問題集を作成することにした。

2. 通関士試験

2.1 通関士試験とは

通関士試験とは国家資格であり、受験制限はない。試験日は10月の第一日曜日で、年に1回となっている。試験に合格すると通関士となる資格を持つことができる。だが、通関士試験に合格しても通関士になることはできない。通関士になるには通関士資格を持った人が通関業に携わる会社に就職し、通関業に従事して財務大臣の確認を受けることで初めて「通関士」を名乗れる。試験科目は通関業法、関税法、通関実務の3科目あり、合格点は各科目6割以上で合格する。合格率は10%~20%となっている。



図1 通関士試験合格率

2.2 通関士試験の出題形式と配点

科目ごとの出題形式が異なるため、それぞれの対策が必要になる。

表1 出題形式及び配点数

試験科目	出題形式及び配点		
	択一式	選択式	計算式
(1) 通関業法	10点 (10問)	35点 (10問)	なし
(2) 関税法等	15点 (15問)	45点 (15問)	
(3) 通関実務	-	申告書20点 (2問)	
	5点 (5問)	10点 (5問)	10点 (5問)

3. 問題集の作成

3.1 Google formを使った問題作成

Google formを使用し、通関士試験の問題集を作成した。Google formとはGoogleのサービスの1つとして提供されているフォーム作成ツールである。こちらはスマホ、パソコンに関わらず使用することができる。

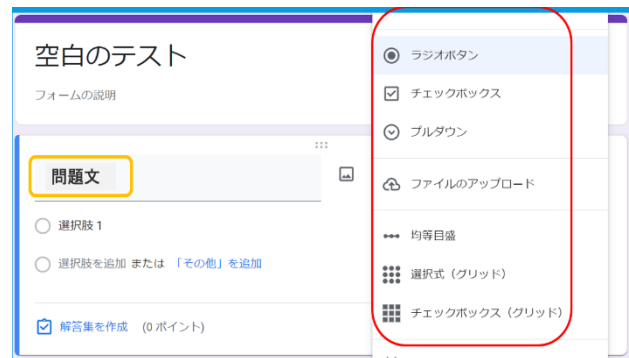


図2 Google formの問題作成画面

- 1 右の赤線で囲まれているところから問題形式を選択する。
- 2 左の黄色の線で囲まれている場所に問題文を入力する。
- 3 「選択肢1」と書いているところに答えの選択肢を入力する。
- 4 左下の「解答集を作成」をクリックし、正しい解答、点数、解説を設定する。

このような手順で第 54 回～第 57 回の通関業法、関税法の問題を作成した。

また、通関業法、関税法それぞれの問題を解く際に数十分かかってしまうため、短時間で解ける問題も作る必要があると感じた。そこで分野ごとに○×形式の問題を作成した。この問題を作成することにより、自分の苦手な分野を集中的に勉強することができる。○×形式の問題にすることで、文字数が減り、短時間で問題を解くことができ、隙間時間の勉強に使いづらい点を改善することができた。○×問題は解答後、解説が表示される。解説は、正解・不正解どちらでも表示するように設定した。

通関業者及び通関士の義務

図 3 分野別○×問題の解答画面

出典：税関ホームページ

(<https://www.customs.go.jp/tsukanshi/>)を加工して作成。

分野別問題以外にも私たち自身で通関士試験の例題を作成した。通関業法、関税法の条文から例年通関士試験で出題されている分野を中心に作成した。問題は分野別問題と同じ○×形式で作成した。

3.2 ハイパーリンク、QR コードの作成

解答する問題集を選択するために、グーグルドキュメントを使い、各問題集の解答画面へ飛ぶハイパーリンクを作成した。作成したグーグルドキュメントを PDF ファイル化し、このグーグルドキュメントに飛ぶための QR コードを作成した。グーグルドキュメントの URL をコピーし、QR コードを作成するツールに貼り付けて作成した。QR コードを作成することにより、カメラをかざすだけで問題を解くことができる。また、画像を保存しておくだけで、いつでも問題を解くことができるので、便利に使用できる。

通関士試験 対策問題集

◆通関士試験【自作問題】

[・関税法\(自作\)](#)
[・通関業法\(自作\)](#)

◆通関士試験【過去問題】

<通関業法>

[・ 54回](#)
[・ 55回](#)
[・ 56回](#)
[・ 57回](#)

<関税法>

[・ 54回](#)
[・ 55回](#)
[・ 56回](#)
[・ 57回](#)

◆分野別 二択問題

[・ 通関士となる資格及び通関士の資格の喪失](#)
[・ 通関業者及び通関士の義務](#)

図 4 問題集選択画面



図 5 問題集選択画面の QR コード

3.3 Google form の問題集のメリット

Google form を使うメリットがいくつかあり、

1 つ目はアプリではなく Google form にすることで、スマホ・PC にかかわらず問題集を解くことができる。

2 つ目は閲覧可能者を限定させることができる。

3 つ目は回答が自動で集計されるため、問題の正解率などを見ることができる。などが挙げられる。

4. おわりに

この問題集の作成を通していくつかの改善点が見つかった。

問題のランダム出題ができないことや、問題数が現時点で多くないことである。分野ごとの問題数を増やし、より広い範囲を学べるよう改善していければと思う。

参考 Web

[1] 税関ホームページ

<https://www.customs.go.jp/tsukanshi/>